あ　さ　な　ぎ　通　信

～心豊かに　しなやかで　進んで学ぶ子どもの育成～

浅子小中学校だより
No.１２
令和５年６月２０日（火）
文責：木下智美

６月１８日（日）　来校及びご協力、ありがとうございました

①　８：５０～　学校支援会議

この会議の中では、学校経営説明、子どもたちの様子などについて、話し合いを行いました。学校教育目標は「心豊かに、しなやかで、進んで学ぶ子どもの育成」を掲げ、９年間をとおしたトータルな発達を長期的に支援するために、まずは義務教育学校の体制の確立を進めています。子どもの９年間の成長を統一的に捉えることが可能な義務教育学校は、生きる力と総合的な資質・能力が求められる学校教育にあって、期待される学校の形態です。児童生徒が少ないことも個別対応が可能になる強みと考え、「学習の個性化」と「指導の個別化」を図っております。
併せて信頼ある教職員集団であるよう、体罰・不祥事が絶対にないように努めてまいります。

【地域の方よりご意見をいただいています】

〇挨拶がとてもよくなった。一度止まってきちんと挨拶をしている。
〇「何かしましょうか」と子どもが言ってきた。これまでなかったので印象が強い。
▲時間を守れる子どもになってほしい。教会の時間も遅れて入ってくることがないようにしてもらいたい。学校だけでなく、日常的に時間を守ることは大切なこと。

②　授業参観【道徳】

子どもたちの発達段階に応じた内容で、道徳の授業を参観していただきました。道徳が教科として位置づけられた理由の一つに、いじめの解消があります。自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習をとおし、道徳的な判断力や心情、正しいことを勇気をもって行う気持ちを養うために、週１回工夫をしながら取り組んでいます。

③　親子親善スポーツ大会

「カローリング」は初めてでしたが、ジェットローラーのコントロールが思った以上に難しかったです。しかし、誰でも楽しむことができるスポーツ。係の保護者の方は道具を事前に借りに行かれたり、何度かシュミレーションをして子どもが楽しめるように工夫をしたりしてくださり大いに盛り上がりました。忘れられない楽しい時間をありがとうございました。